

令和5年度事業報告書

I 概要

社会全体のデジタル化が進む中、山口県においては、令和5年2月に「やまぐちデジタル改革基本方針」を改訂し、本県のデジタル改革をより高いレベルに押し上げ、産業や交流、生活など県政のあらゆる分野や各地域におけるデジタル実装を実現していくこととしています。

これを受けて、当財団では、やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」のDXコンサルやデジタル技術で社会課題を解決するシビックテックの推進、官民連携のデジタルコミュニティ「デジテック for YAMAGUCHI」での共創プロジェクトの実施など、デジタル実装の本格展開につながる取組に力を入れるとともに、デジタル人材の育成やデータ利活用の促進等にも引き続き取り組みました。

また、ニューメディアプラザ山口（NPYビル）の管理については、経費の節減を図りつつ、適切かつ円滑に実施するとともに、「中期（5カ年）修繕計画」に基づき、ビル警備管理システム更新など、建物機能の維持・向上を図り、入居者や施設利用者の安全性・快適性の確保に努めました。

一方で、複数の新規入居者を確保したものの、年度末に面積の大きな退居者が出たため、入居率が大幅に減少し、新規テナントの誘致が急務となっています。

[事業一覧]

- 1 高度情報化の推進及びデジタル技術の普及・利用促進事業
 - (1) 情報化・デジタル化の普及啓発
 - (2) 全県的なDXの推進
 - (3) オープンデータの普及・推進
 - (4) デジタルデバイド（情報格差）対策の推進
 - (5) コンピュータールームの管理運営
 - (6) 市町ネットワークの管理運営
- 2 ニューメディアプラザ山口（NPYビル）の管理運営事業
 - (1) 不動産の管理運営
 - (2) 利用施設（イベント施設）の管理運営
- 3 情報通信の格差是正事業
 - (1) 移動通信用施設等の管理運営

II 評議員会及び理事会等の開催状況

1 評議員会

区分	開催日時・場所	議 事 等
定時	令和5年6月19日(月) 10:00～ Y-BASE (Web 併用)	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度事業報告について・令和4年度公益目的支出計画実施報告について・令和4年度収支決算について・評議員の選任について・理事の選任について
臨時	令和5年6月29日 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none">・評議員の選任

2 理事会

区分	開催日時・場所	議 事 等
臨時	令和5年4月17日 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none">・副理事長の選定について
定時 第1回	令和5年5月25日(木) 10:00～ Y-BASE (Web 併用)	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度事業報告について・令和4年度収支決算について・令和4年度公益目的支出計画実施報告について・令和5年度定時評議員会の招集について・令和5年度職務執行状況について
臨時	令和5年6月28日 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none">・臨時評議員会の招集について
定時 第2回	令和6年3月22日(金) 13:30～ Y-BASE (Web 併用)	<ul style="list-style-type: none">・業務執行体制の見直しについて・令和6年度事業計画について・令和6年度収支予算について・臨時評議員会の招集について・事務局長の選任について・令和5年度職務執行状況について

3 監査

区分	開催日時・場所	議 事 等
監査	令和5年5月18日(木) 14:00～ NPYビル2階 第3会議室	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度事業及び収支決算等について

III 事業の実施状況

1 高度情報化の推進及びデジタル技術の普及・利用促進事業

(1) 情報化・デジタル化の普及啓発

県民、行政機関、民間企業等を対象に、高度情報化やデジタル技術をテーマとした講演会等を開催するとともに、最新技術やソリューション（解決方策）の普及に向けたデジタル展示会を開催した。

○ デジタル技術等に関する講演会・展示会の開催

名 称	やまぐちAI・DXソリューション展示会
開 催 日	令和5年8月18日（金）10:00～17:00
会 場	多目的シアター・イベントホール・Y-BASE他
主 催 者	山口県・（一財）山口県デジタル技術振興財団
内 容	<p><セミナー></p> <p>○特別講演 「生成AI等の可能性」 山口県CIO 補佐官、ワークスモバイルジャパン(株)執行役員 CLOVA 統括、Z Holdings(株) CCPO AI室 砂金 信一郎氏</p> <p>○アドビ生成AIセミナー 「誰もが活用できる！アドビの生成AI技術」 アドビ(株) GTM 市場開発部プリンシパルBDM 阿部 成行氏</p> <p><先進ソリューション展示></p> <p>○生成AI等を活用したデモンストレーション展示</p> <p><課題解決ソリューション展示></p> <p>○出展企業 13社（下表）</p>
参 加 者	240名（県・市町、民間企業、各種団体、県民等）

<出展企業>

企 業 名	所在地	展示ソリューションPR
RPA テクノロジーズ(株)	東京都	サポート充実で IT ツール初心者から使える RPA
(株)アドインテ	京都府	AITag と AIGeo で繋がる Web とリアル集客
三信電気(株)	東京都	「ChatGPT」を利用した AI 要約機能搭載！
(株)スリーシェイク	東京都	データの加工・連携を「手作業」から「自動」へ
SWAT Mobility Japan(株)	東京都	膨大な交通分析作業がワンクリックに！
(株)TARA	神奈川県	工事不要で設置が簡単なお手軽価格な AI カメラ
(株)電算システム	岐阜県	AI カメラ搭載のインタラクティブサイネージ
(株)MENOU/常盤商会グループ	東京都/宇部市	ノーコード AI であらゆる外観検査の自動化を可能に
ネボン(株)	東京都	データ連携基盤で地域の企業、人、物、データが繋がる
(株)マクニカ	神奈川県	情シスの救世主！デバ/イ/SaaS 統合管理クラウド
(株)UCD コンサルティング	宇部市	自治体も住民も便利になる粗大ごみ管理システム
リコージャパン(株)	東京都	紙文書や散在しがちなファイルも丸ごと一元管理
レッドフォックス(株)	東京都	現場で活用！スマホで使える業務支援アプリ

○ イベント施設を活用した講演会等の支援

名 称	山口女性 Web エンジニア短期育成スクール
実施日	令和5年9月1日(金)～令和6年1月31日(水)(延100日)
会 場	NPYビル
主催者	山口県((一社)女性活躍委員会)
内 容	女性を対象として、就業を目指した Web 作成プログラミング等の講座の開催
参加者	57名(会場、オンライン、アーカイブ)

名 称	DXファーストステップ～DXをはじめませんか?～
実施日	令和5年11月4日(土) 14:00～16:00
会 場	周南公立大学(周南市)
主催者	西京銀行地域DX共同研究講座(周南公立大学)
内 容	セミナーの開催、デモ展示
参加者	35名

名 称	アーバンデータチャレンジ2023 in 山口
実施日	令和5年12月16日(土) 10:00～20:00 ～17日(日) 10:00～18:00
会 場	Y-BASE
主催者	Code for Yamaguchi
内 容	オープンデータの活用を促進する全国的なコンテスト「アーバンデータチャレンジ2023」への応募作品を作成するグループワークの開催
参加者	8名

名 称	やまぐち高校生ICTコンテスト2023最終審査会 (高校生のICT活用促進と幅広いデジタル人材育成を目的に開催)
実施日	令和6年1月28日(日) 13:30～18:00
会 場	Y-BASE・イベントホール
主催者	山口県教育委員会
内 容	プレゼン発表、最終審査及び表彰式
参加者	10校(14チーム)60名

名 称	やまぐちデジタル改革とセキュリティー対策セミナー
実施日	令和6年2月14日(水) 14:00～16:30
会 場	山口市
主催者	あいおいニッセイ同和損害保険(株)山口支店
内 容	DX推進、サイバーセキュリティ対策に関する講演
参加者	223名(現地、オンライン視聴)

名 称	DXセカンドステップ～DXを成功に導くためのスキルと人材～
実施日	令和6年3月16日(土) 14:00～16:00
会 場	周南市役所シビック交流センター
主催者	西京銀行地域DX共同研究講座(周南公立大学)
内 容	セミナーの開催、デモ展示
参加者	38名

(2) 全県的なDXの推進

デジタル社会の実現に向け、全県的なDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するため、やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」や官民連携のデジタルコミュニティ「デジテック for YAMAGUCHI」を核としたデジタル技術を活用した地域課題の解決やDX推進を担うリーダー人材の育成、データ利活用の環境整備等を行った。

ア 地域の社会課題の解決

① やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」の運営

全県的なDXを推進するため、行政や民間企業、大学等の多様な主体がDXを相談することができ、内容に応じてDXコンサルティングやデジタル化の技術的支援、デジタル人材の育成等を行う中核施設として、やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」を運営した。

また、Y-BASEのクラウド型ICT基盤として、利用者がクイックにデータ分析やアプリケーション開発ができる「Y-Cloud」及び官民の様々なデータを収集・加工・分析等ができる「山口県データプラットフォーム」を運用した。

名 称	やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」
開 設 日	令和3年11月1日
場 所	ニューメディアプラザ山口(NPYビル)10階 (267.20㎡) 同1階に「サテライトスペース」
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外のDX情報が集まる情報共有機能 先進技術のデモ展示 (※) ・DX相談窓口・DXコンサルティング機能 ・データ分析や実証実験を行うICT環境の提供/技術サポート 「Y-Cloud」・山口県データプラットホームの運用 ・デジタル人材育成機能（勉強会・セミナーの開催等） ・「デジテック for YAMAGUCHI」の出会い・交流の場
運営概要	<ul style="list-style-type: none"> ・開館日 月～金（土日・祝日、年末年始は閉館） 10:00～17:00（事前予約があれば20:00まで延長） ・運営人員 常時4～5名配置（運営スタッフ・専門人材） ・利用料金 無料
施設運営	西日本電信電話株式会社山口支店(山口市)、NTTビジネスソリューションズ株式会社(広島市)へ委託

※デモ展示については、DXコンサル相談への誘引拡大を図る内容に順次更改

Y-BASEのサテライト施設

名 称	Y-BASE・宇部ランチ	Y-BASE・防府サテライト
開 設 日	令和4年5月16日	令和4年11月5日
開設場所	宇部市中央町3-10-12 宇部産業共創イノベーションセンター「志」内 （起業・創業や企業経営等に対する支援施設）	防府市八王子 2-8-9 デザインプラザHOFU 1階 防府市創業交流センター内 （中小企業の経営や創業に対する支援施設）

○ Y-BASEの利用の状況

年度	利用者		利用者アンケート		稼働率 (平日)	備考
	団体数	人数	満足度	利用希望		
3年度	247	1,396	95.1%	94.3%	73.6%	R3.11開設
4年度	622	2,750	96.9%	95.7%	78.5%	
5年度	525	2,262	94.8%	97.2%	66.2%	
累計	1,394	6,408	96.1%	95.1%	72.2%	

○ DXコンサルの実績

区分	累計 (R3~R5)	うちR5年度	備考
事案件数	315	197	R5新規146件、前年度からの継続51件
終了件数	272	154	
うち実装件数	31	22	R4:9件
継続件数	43	43	

○ DXコンサルでの実装事例 (R5年度分)

設定課題	解決事項
交通安全啓発活動の推進	交通安全啓発活動の推進に向けた交通事故データの可視化
売買契約の電子化	売買契約書の電子化に向けた電子サインシステムの実証及び導入支援
人流調査実施方法の検討	人流調査実施方法検討でのAIカメラと来訪ログデータの活用の実証
社内サーバの更改の実現可能なパートナーの確保	社内サーバの更改での実施方法に関する情報及び実施可能なベンダーの紹介
HPに組み込むことができる問診ツールの紹介	HPに組み込むことのできる問診ツールの導入に向けた情報提供・支援
Web予約サービスの導入	Web予約システムの実運用までの導入支援
課題の整理及び課題解決方法の検討	課題の整理及び課題の解決方法に関する解決法やルールを紹介
予約システムの紹介	予約システムに関する情報提供及び導入サポート
サブスク事業の開業	開業に向けたサブスクシステムの導入支援
LINEWORKSの活用	LINEWORKSの導入支援
自動車部品の検品・検査・梱包作業の効率化と人為的ミスの防止	自動車部品の検品・検査、梱包作業の効率化に向けたシステム化の導入支援
居酒屋レジの更改とAIカメラの導入検討	AIカメラによる顧客情報のデータ化
歩行空間や駐車場の混雑状況可視化の実証検討支援	歩行空間や駐車場の混雑状況可視化等のAIカメラによる実証支援
無人店舗での受付	無人店舗の実現方法に関する情報提供・支援
安全確認カメラの導入	安全確認カメラの導入支援
不動産情報の自動収集	不動産情報の自動収集に向けたシステム導入に向けた情報提供・支援
介護記録の効率化	介護記録の効率化に向けたアプリについての情報提供・支援
測量・配筋検査の効率化	測量・配筋検査の効率化に向けたシステムの情報提供・支援
自動販売機の遠隔情報収集	自動販売機の遠隔情報収集に向けたシステムの情報提供・支援
販売管理、倉庫業務の効率化	販売管理、倉庫業務の効率化に向けたシステム更新での情報提供・支援
原価管理の効率化	原価管理システムに関する情報提供と実証支援
メタバースルームの構築	メタバースルームの活用メタバース作品展の実現

○ イベント・セミナー等の開催

開催日	内 容	備 考
4/27(木)	「導入企業の声も紹介！デジタルツールを活用した営業活動/顧客管理の効率化」	
5/12(金)	D X推進セミナー&宇部ランチD X推進補助金説明会	宇部ランチ
5/29(月)	生成A Iセミナー「最先端生成A Iの現状と可能性」	
6/15(木)	デジタルツインフォーラム	防府サテライト
6/27(火)	D X推進セミナー&防府市中小企業D X実現支援補助金説明会	防府サテライト
7/18(火)	デジタル改革共創プラットフォーム勉強会	県主催
7/21(金)	生成A Iセミナー第二弾「ChatGPT 連携サービス提供企業登場！！～サービスの進化に向けた ChatGPT 活用事例の紹介～」(オンラインセミナー)	
7/27(木)	山口ミライデザイン2023～共助型デジタル社会とまちづくり	
8/19(土)	親子でデジタル学ぼう！A Iとレゴで作る動く遊園地	
10/19(木)	山口県統計データ利活用セミナー	県主催
10/25(水)	生成A Iセミナー第三弾「業務変革を実現する新たな生成A Iサービスの紹介～」(オンラインセミナー)	
10/27(金)	庁内トップセミナー	県主催
1/24(水)	知事×若手職員の意見交換会	県主催
1/25(木)	アプリを作って業務改善 Kintone ハンズオン勉強会	
3/6(水)	Y-BASE宇部ランチD X推進成果発表会	宇部ランチ
3/19(火)	中小・小規模事業者の課題解決に役立つ！デジタル活用セミナー	防府サテライト
3/24(日)	春休み親子イベント「防災メッセージ動画作成ワークショップ」	防府サテライト

○ 金融機関との連携

(株)日本政策金融公庫(県内4支店)と連携協定を締結(8/24)し、Y-BASEを核とした本県の各分野・地域における身近なD X事例の創出と横展開に向けた取組みの加速化を図った。

○ 関係機関との連携

(一社)山口県中小企業診断協会(山口市)が経営診断を実施した中小企業のうち希望者にY-BASEがサポートした。

② Y-BASEサテライトプロジェクトの推進 [新規]

名 称	Y-BASE・宇部ランチ	Y-BASE・防府サテライト
取組実績	「メタバース(META)ときわ公園」を構築するとともに、山口大学や宇部高専の学生自らが3Dオブジェクトの提案・制作を進めるイベント等を開催した。	A Iカメラや携帯GPS位置情報による人流及び年代等の属性データを収集・解析して、その結果をダッシュボード化し、市ホームページで市民に提供した。

③ 「デジテック for YAMAGUCHI」の活動推進

デジタル技術を活用して、山口県が抱える地域課題の解決や新たな価値の創造を持続的に行うため、シビックテック的活動からビジネス的活動まで幅広く取り組む官民連携の会員制組織「デジテック for YAMAGUCHI」を運営し、会員向けの勉強会

等の実施、会員同士の交流や共創活動を促進した。

名 称	官民連携デジタルコミュニティー「デジテック for YAMAGUCHI」
発 足 日	令和3年6月10日
会 員 数	デジテック・パートナー 1,199 (個人1,008、法人191) R6.3.31 現在
活動目標 テ ー マ	<共に考え、デジタル改革に挑戦し、克服する> ○少子高齢化 (結婚・出産・子育て、教育、担い手・人材、介護など) ○中山間地域 (買い物、医療、交通等の日常生活の維持・活性化など) ○若者流出 (働く場・学ぶ場、まちの賑い・魅力、生活利便性など)
会員の活動	○会員同士の交流、共創活動 ・共創プロジェクト、勉強会 (下表参照) ○会員自主企画イベント「デジテック・ミートアップ」の開催(下表参照) ○やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」の利用 (実証等のためのICT環境の利用を含む。) ○「やまぐちAIQuest」の受講 (下記イ③参照)
運営体制	○事務局運営 西日本電信電話(株)山口支店(山口市)へ委託
アドバイザー 等	○デジタルコミュニティアドバイザー 水田 千恵氏 (ヤフー(株)) 「デジテック for YAMAGUCHI」の活動に対する助言等 ○シビックテック・マネジメント 原田 哲也氏 ((株)スオウ) シビックテック的課題解決の促進等

○ 会員数の状況

年度	個人会員	法人会員	計	備 考
3年度	532	114	646	R3.6 発足
4年度	253	54	307	
5年度	223	23	246	
累 計	1,008	191	1,199	

○ 会員による共創プロジェクト

No.	プロジェクト名	プロジェクト期間	課題テーマ
1	レファ駐車場プロジェクト	R3.10~R4.4	駐車場の混雑問題の解決に向け、空き状況などを確認できる「レファ駐車場情報サイト」の開発
2	レファ駐車場プロジェクト 2nd Season	R4.7~R5.10	上記サイトをサポーターがより活用・投稿したくなる機能の追加
3	フードバンク在庫管理プロジェクト	R4.6~R5.2	フードバンク山口の煩雑な食品在庫管理業務をボランティアの方でも使いやすく自動化
4	フードバンクありがとう Webサイトプロジェクト	R4.12~R6.2	フードバンク山口の食品寄贈者への感謝のメッセージを Line チャットボット機能を活用し発信
5	獣害マッププロジェクト	R5.1~R6.2	中山間地域の獣害対策として、獣の目撃場所等を地図上で可視化するサイトの開発・実証
6	フードバンクありがとう Webサイトプロジェクト	R6.2~	コミュニティアプリ 防府の食品寄贈者への感謝のメッセージを発信

○ イベント・勉強会の開催

開催日	内 容	備 考
5/24(水)	D X推進で求められるデジタル環境整備とツール活用～現場に必要な改善とは～	デジタル・ミートアップ
6/22(木)	「LINE公式アカウントのカスタマイズや活用事例の紹介！」	デジタル・ミートアップ
10/6(金)	デジタルLT (ライトニングトーク) 3rd	会員交流イベント
11/29(水)	誰でも何でも生成AI 発表会	会員交流イベント
12/16(土) ～17(日)	アーバンデータチャレンジ2023 in 山口 (Code for Yamaguchi と共催)	会員交流イベント
1/13(土)	アイデア創出ワークショップ！デジタルで暮らしやすいやまぐちを考えよう！	会員交流イベント
1/19(金)	生成AI と考えた新年の抱負発表会	会員交流イベント
3/13(水)	デジタルLT (ライトニングトーク) 4th in UBE	会員交流イベント

注) デジタル・ミートアップ：会員自主企画イベント

④ デジタル・ガバメントの構築支援 [新規]

全県的なデジタル・ガバメントの構築を推進するため、やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」に、市町のデジタル・ガバメント専用窓口（デジタル・ガバメント構築支援窓口）を設置し、市町に対しての国の動向・他自治体の優良事例等の情報発信や専門的な相談対応、デジタル実装に向けた伴走支援を実施した。

【相談支援】

年間相談件数	書かない窓口の導入/ マイナンバーカード 利活用	オープンデータの整 備	その他（システム標準 化、デジタル人材育成 等）
141	44	39	58

【勉強会・セミナー開催】

名 称	「書かない窓口」の導入に係るハンズオン形式による実践セミナー	デジタル人材育成に係る管理職員向け研修	オープンデータ整備に関する市町個別支援説明会
開催日	令和5年5月23日(火)	令和6年2月20日(火)・21日(水)	令和6年1月18日(木)、3月5日(火)～7日(木)
会 場	Y-BASE	柳井総合庁舎、大島町役場	柳井市役所、美祢市役所
参加者	19市町40名 (内、現地参加21名)	4市町37名	柳井市15名、美祢市22名
内 容	テーマ「書かない窓口ハンズオンセミナー」 講師 (株)北見コンピューター・ビジネス	テーマ「管理職としての役割とそのポイント」 講師 (株)デジタルトランスフォーメーション研究所	目的「オープンデータの必要性及び整備プロセス等についての情報共有」

【デジタル・ガバメント実装支援】

区 分	実 施 内 容
「書かない窓口」導入支援、マイナンバーカードのユースケース創出支援	<ul style="list-style-type: none"> ・総合窓口の有無や市町窓口の業務形態に応じた導入手法の検討、ソリューション情報の提供 ・マイナンバーカードの普及を踏まえた活用事例の創出（下関市、山口市、防府市、美祢市、上関町、田布施町、平生町）
高品質なオープンデータの整備	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉や観光施設の一部など、利用者ニーズに沿ったデータの収集・整備の仕組みづくり ・県・市町のデータ公開に関する役割及び課題整理 ・データ公開率向上のための効率化手法と個別支援（柳井市、美祢市）
その他DX推進関連の実装支援	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化対象外業務についての運用支援（岩国市） ・デジタル人材育成（美祢市） ・電子申請（周南市） ・特定保健指導オンライン化（平生町）

・事業運営 西日本電信電話株式会社山口支店(山口市)へ委託

⑤ 「シビックテックチャレンジYAMAGUCHI」の実施

複数自治体の案件を同時に公募することで、スタートアップ企業等に対して訴求力の高さを確保している「Urban Innovation JAPAN」の枠組みを利用し、行政課題とその解決を目指す企業等とのマッチングを図り、デジタル技術を活用して地域課題の解決を図る「シビックテックチャレンジYAMAGUCHI」を実施した。

課題及び協働企業 18課題提案→46企業応募→8課題マッチング

No.	課 題 (提案者)	協働企業名 (所在地)
1	空き家調査の生産性革命！ 現場ですぐに情報入力できる空き家データベースを構築したい！（防府市）	あっとクリエーション(株) (大阪府)
2	紙の情報をデジタルで一元管理！ 高齢者の介護予防を地域で継続できる仕組みを作りたい！（山陽小野田市）	(株)ラック (東京都)
3	デジタル・ツールの活用で、介護医療関係機関のエンゲージメント向上！（周防大島町）	(株)AGEN (兵庫県)
4	歴史ある町内駅伝大会をDXしよう！ 運営ノウハウが継承できる持続可能な大会にし、いつまでもたすきをつなぎたい！（田布施町）	シーフル(株) (東京都)
5	やまぐちの旅の魅力と感動を世界中でシェア！ タイムリーで旬な観光情報を共有する未来型の情報環境の構築 (県)	(株)World Wide System (岡山県)
6	地域の見守りにもDXを！ 子どもたちを守る安全マップを作りやすく、見やすくしたい！（県）	(株)エイム (宇部市)
7	そのとき何が起きたのか？ 交通事故の状況を3Dデータ上でリアルに再現し、衝突形態や走行速度を特定したい。（県）	(株)シュルード設計(京都府)
8	運転免許センターにもDXを！ 免許取得に係る学科・実技試験のインターネット予約システムを導入し、もっと使いやすく便利したい！（県）	(株)UCDコンサルティング (宇部市)

・事業運営 NPO法人コミュニティリンク (兵庫県) へ委託

○ 事業成果の広域展開

令和3年度に阿武町で実施した「聴力の弱い方ともスムーズな意思疎通ができる相談支援ツールの開発」の取り組みから生まれた「窓口相談支援システム」について、他町においても導入への強い希望があったことから、山口県町村会と連携して、県内全6町において導入に向けた実証を、令和4年10月から令和5年9月まで1年間実施した。

- ・「窓口相談支援システムの実証に向けた連携と協働に関する協定」の締結

締結日	令和4年8月5日
締結者	山口県、山口県町村会、(株)アイシン(愛知県)、 (一財)山口県デジタル技術振興財団

また、令和5年10月からは、6町での実証の結果、引き続き継続利用を希望する町及び実証を希望する市での広域実証を支援した。

- ・実証市町 和木町、田布施町、平生町、岩国市

⑥ やまぐちリビングラボの推進 [新規]

住民の課題やニーズを把握した共創活動を展開するため、デザイン思考(デザインシンキング)のアプローチ等によってアイデアの試作や実証等に取り組むリビングラボ(※)を実施した。

※リビングラボ:住民や行政、企業等が生活環境での実験等により審査ビス等を共創する活動

【キックオフイベント】

開催日	現地:令和5年6月17日(土)/オンライン:6月19日(月)	
会場	Y-BASE	
参加者	18名(現地会場6名、オンライン12名)	
内容	<セミナー> ・リビングラボに期待できる可能性 <事例紹介> 「ユーザー視点で創出されたアイデア例」 <ワークショップ> 「自分の興味・関心をみんなでシェアしよう」 講師 Tsukuru to Ugoku Design(株)代表取締役、 周南公立大学経済学部講師 赤木 真由氏 (株)地域創生 Co デザイン研究所ポリフォニックパートナー、 東京理科大学客員准教授 木村 篤信氏	

【リビングラボ】

開催日	・チームミーティング 6月~8月 ・プロトタイプング 9月~3月	
テーマ	遊び	食(子育て)
参加者	4名	6名
課題	子どもや親が魅力を感じる遊びの機会が少ない	思春期の子と親のコミュニケーションが不足しがち、子どもにもっと自主的に料理に関わってほしい

プロトタイプ	子どもや親が魅力を感じる遊びをブレストし、デザイン思考を踏まえた試作品（遊び）を作成	料理を題材に思春期の子と親が交流する要素をブレストし、試作品（料理イベント）を作成
プロトタイプ	U18 デジタルアートコンテストで受賞した遊びのアイデアを、きらら博記念公園で実施	子ども食堂等と連携し、高校生が大学生と調理し、子ども達に料理を提供する機会を実施

- ・事業運営 [周知・アイデア形成] Tsukuru to Ugoku Design 株式会社（光市）へ委託
[プロトタイプ] 株式会社アワセルブス（山口市）へ委託

イ デジタル人材の育成

① やまぐちDXエバンジェリストの創出 [新規]

DXを推進するために必要な水準の知識・スキルを有し、DXの取組みの目的を設定するとともに、関係者と協働して目的実現に向けたプロセスを推進できる人材を育成し、また、その取組みを普及することで、本県におけるDXのエバンジェリスト（伝道師）となるDX推進リーダー人材を育成した。

【アセスメントの実施】

概要	受講者に対して複数回アセスメントを実施することにより、スキルレベルを可視化し、本業務の効果測定をする。		
開催期間	1回目 令和5年9月1日～令和5年10月6日 2回目 令和5年10月18日～令和5年11月5日 3回目 令和6年2月6日から令和6年2月29日		
実施形式	インターネットによる個別受検		
参加者	100名（県13人、市町8人、民間企業65人、デジテック会員等14人）		
評価結果	名称	基準	人数
	DX推進リーダー人材（スキル）	・デジタルスキル6.5以上 ・イノベティブスキル6.5以上	30人
	DX推進リーダー人材（素養）	・デジタル素養7.4以上 ・イノベティブ素養6.9以上 ・デジタルスキル2以上	19人

【個別学習プログラムの実施】

概要	アセスメントにより受講者のスキルレベルを把握した上で、集合学習プログラム参加前に、受講者のスキルレベルがDXを推進するために必要な水準以上になることを目指し、スキルの補完・強化を行う。
開催期間	1回目 令和5年9月1日～令和6年3月31日
実施形式	Eラーニングによる個別受講
参加者	100名

【集合学習プログラムの実施】

概要	知識の習得だけに留まらない、DX推進による実践的な課題解決能力を養成するための集合学習プログラムを開催した。 ・講演、課題抽出のためのワークショップ、グループワーク
開催日	1日目 令和5年11月28日(火) 13:00～15:30 2日目 令和6年2月6日(火) 13:30～15:40
会場	Y-BASE
参加者	17名

- ・事業運営 株式会社エクサウィザーズ（東京都）へ委託

② やまぐちデザインシンキングカレッジの開催

ユーザー視点に立った本質的なニーズや課題の把握などに有効な「デザイン思考」について、県内の幅広い主体に対して理解促進を図るとともに、県内の企業・団体等におけるデザイン思考を活用した実践的な取組の中核を担う人材を育成するための「やまぐちデザインシンキングカレッジ」を開講した。

【オープニング(開講)イベント】

開催日	令和5年8月2日(水)
会場	Y-BASE
参加者	52名(現地会場24名、オンライン28名)
内容	<p><講演・ワークショップ> 「システム×デザイン思考～ChatGPT時代のデザイン思考の重要性～/体感ワークショップ」 ・慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任助教 広瀬 毅氏、中田 実紀子氏</p>

【ベーシックプログラム】

概要	デザイン思考による課題設定からアイデア創出まで一連の流れを体感するプログラム [ワークショップテーマ] きらら博記念公園を子どもから大人までもっと行きたくなる公園にするにはどうしたらよいか?
開催日	3日(8/24(木)、9/14(木)、10/26(木))
会場	Y-BASE
参加者	53名(民間企業、教育機関、行政関係者等)
講師	NTT西日本デザインシンカー

【アドバンストプログラム】

概要	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科(慶應SDM)独自のアプローチである「システム×デザイン思考」を本格的に学び、デザイン思考の実践力を習得する長期プログラム
開催日	①集中ワークショップ2日(10/3(火)、10/4(水)) 現地開催 ②デザインフェーズ4日(10/18(水)、11/1(水)、11/15(水)、11/29(水)) オンライン開催 ③最終発表会(※) 1日(12/21(木)) 現地開催・オンライン配信 ④フォローアップ(交流会) 1日(2/9(金))
会場	Y-BASE
参加者	29名(民間企業、教育機関、行政関係者等)
講師	慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特任助教 広瀬 毅氏、中田 実紀子氏

※最終発表会

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムを通じて創出した取り組みテーマに関するイノベティブなアイデアを各グループ(5チーム)ごとに発表 ・山口県知事 村岡嗣政、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 白坂 成功氏、山口県CIO補佐官 関 治之氏、慶應SDM 特任助教 広瀬 毅氏、中田 実紀子氏 ・修了式 修了証(オープンバッジ)授与
----	---

・事業運営 西日本電信電話株式会社山口支店(山口市)へ委託

③ やまぐちAI Questの実施

デジテック for YAMAGUCHI の会員を対象に、オンラインによるAI学習プログラムを無料開放し、受講者がデータサイエンスに関する基礎～中級スキル（IT部門の仕事ができる程度）を身につけることができる環境を整備した。

また、この受講者を対象に、「AI予測モデルの構築」をテーマとしたAI開発等の実践的なハンズオン勉強会を開催した。

名 称	[基礎的レベル]	[中級のレベル]
	e-Learning 講座 (オンライン型AIスキル学習講座)	ハンズオン講座
開 催 日	フリー (会員各自)	3日 (8/26(土)、9/30(土)、10/28(土))
受 講 者	426名 (R6.3.31 現在)	e-Learning 講座受講者 21名 (学生、民間企業、行政関係者等)
コ ー ス テ ー マ	<ul style="list-style-type: none"> ・AIリテラシーコース ・ノーコードデータ分析コース ・Python データ分析入門コース ・Python モデリング入門コース ・Deep Learning 入門コース ・Python モデリングコース ・Python ベーススキルコース ・DX リテラシー標準入門コース ・DX リテラシー標準準拠コース 	テーマ「Jリーグの観客動員数」の予測モデルの作成 (Jリーグ公式戦の試合結果やスタジアム等の時系列データから、シーズン後半戦の観客動員数を予測するが、生成AI (ChatGPT) も活用し、コンペを実践しながら、AIについて学ぶグループワーク主体の講座)

オンライン特別講座

名 称	データサイエンス基礎	生成AIワークショップ
開 催 日	令和5年7月22日(土)	令和5年7月29日(土)
参 加 者	9名	13名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスの基礎(分析の考え方など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・生成AIの概念や利用時の注意点 ・ビジネスにおける活用事例等の紹介

・事業運営 株式会社SIGNATE (東京都) へ委託

④ ワールドAIコンペティションの開催

AIを活用した地域課題の解決や新たな価値を創造できる高度なAI人材を発掘・育成するため、「ワールドAIコンペティション YAMAGUCHI」を開催した。

名 称	ワールドAIコンペティション YAMAGUCHI
応募期間	令和5年10月13日(金)～令和5年12月11日(月)
課 題	「古典籍資料のくずし字を翻刻するAIモデルを作成しよう」 (世の中に数冊しかない、貴重な手書きの「姨捨日記」(著者：小津久足)のデータを使用して、くずし字を現代の文字に翻刻するAIモデルを作成し、その精度を競う)
参加人数	506名 (うち山口県在住者9名) ※データ分析を開始した者
投稿者数	93チーム(99名) (うち山口県在住者2名) ※AIモデルを作成し、投稿した者
投稿件数	1,366件 (延べ件数：チーム当たりの平均投稿数14.7件)
表彰式	<ul style="list-style-type: none"> ・日 時 令和6年2月17日(土) 13:00～15:00 ・入賞者 3名 (上位) ・やまぐちAI Quest 賞 (やまぐちAI Quest 参加者のうち最上位者)

	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッション テーマ「AIに文化財の良さがわかるのか？」 パネリスト 山口県立大学准教授 菱岡 憲司氏 (株) SIGNATE 代表取締役社長 齊藤 秀氏 山口県文書館専門研究員 重田 香澄氏 ファシリテーター 山口県立大学准教授 阿部 真育氏
--	---

・事業運営 株式会社SIGNATE（東京都）へ委託

⑤ やまぐちデータアカデミーの開催

県・市町職員を対象として、データの利活用手法を習得し、行政の各現場にEBPM(※)の実装を促すため、サービス立案型のデータアカデミーを開催した。

※EBPM（エビデンス・ベース・ポリシー・メイキング）：証拠に基づく政策立案

名 称	やまぐちデータアカデミー
開 催 日	3日間（10/30(月)、12/13(水)、1/23(火)）、報告会（2/7(水)）
参 加 者	20名（県18名、市町2名）
研 修 テ ー マ	<ul style="list-style-type: none"> ○データを基に地域の現状を正しく理解したうえで、3つのステップで、参加者が住民目線で新サービスの未来像を描くことを目的に実施 ・データ利活用（データ分析手法） ・ユーザーリサーチ ・ダッシュボード

・事業運営 一般社団法人シビックテックラボ（静岡県）へ委託

⑥ データ分析・可視化実践講座の開催

データ分析の中でも利用頻度が高く、課題発見・仮説立案に直結する可能性の高いデータ可視化ツールである「Tableau」の活用ノウハウを習得する実践講座を開催した。

名 称	オンラインセミナー	Tableau 操作説明会
開 催 日	令和5年9月12日(火)	令和5年9月22日(金)
会 場	(オンライン)	Y-BASE
参 加 者	54名	27名
内 容	データ分析初心者を対象に、データ利活用の必要性や効果などについて、有識者の講演や事例紹介	「Tableau」というツールを使って、どのようなことができるか、見て触れる体験会を開催

名 称	データ分析・可視化実践講座
開 催 日	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎研修 10/11(水)、 ・ハンズオン研修 10/24(火)、 ・チャレンジ研修 11/7(火)、11/22(水)、 ・成果報告会 12/22(金)
参 加 者	21名（県12名、市町3名、民間6名）
取 組 テ ー マ	<ul style="list-style-type: none"> ○各種オープンデータ等を用いて、データ分析の可視化を実践する ・山口県にインバウンドを呼び込もう ・山口県のくま出没情報について～私たちの生活に影響は～ ・山口市の高齢福祉施設とハザードマップについて ・山口県の観光客を増加するには

・事業運営 日本電気株式会社中国支社（広島県）へ委託

ウ データ利活用の促進

① デジタルツインの推進 [新規]

デジタルツインプラットフォームである「Re:Earth」を活用し、行政データや県民等が発見・発信するデータ等を、実際にデジタルマップ・デジタルツインに反映・公開する取組みを実施した。

【ワークショップの開催】

	創・造・人	表・現・人
コース	地域課題を解決するサービス・アイデアを参加者がグループワーク形式で創出し、専門家が実際にプロダクト開発・公開する	地域の魅力や様々なデータを参加者自らがデジタルツイン上にデジタルアーカイブ作品として作成する。
開催日	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ(10/20(金)) ・データ確認(11月～12月) ・創作(1/19(金)) ・報告会(2/2(金)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ(12/15(金)) ・データ確認(12月～1月) ・創作(1/26(金)) ・報告会(2/2(金))
参加者	22人	18人
作品数	5	18
作品例	災害デジタル避難マップ、コミュニティバス走行マップ、歴史学習用マップ等	観光コンテンツ案内、昆虫生息域の分布状況、地域の自然災害伝承巡り等

・事業運営 株式会社パソナ（山口市）へ委託

② 官民データ利活用の促進

○ データ分析ダッシュボード現場実装支援

行政の現場が保有する各種データを用いて、BIツールを活用し、現状・事実を可視化・ダッシュボード化に取り組んだ。

- ・ 県統計分析課（転出入人口の分析）、県警（交通事故の発生状況）

○ データ利活用基盤の整備・充実

データの蓄積基盤である「山口県オープンデータカタログサイト」に蓄積する行政データの拡充を支援する取組みを継続的に実施した。

エ デジタル推進体制整備受託事業（県受託事業）

山口県におけるデジタル技術の社会実装を加速するため、「山口県デジタル統括監」を配置し、専門的な見地から、施策の企画立案や実施に関する技術的な助言を行った。

① 山口県デジタル統括監の配置

- ・ 配置時期 令和2年6月1日から
- ・ 配置職員 田中貴光（NTT西日本(株)から出向）
- ・ 配置先 県デジタル推進局内他

- ・ 活動内容 5G等未来技術の利活用促進による地域活性化・産業振興
 県のデジタル化推進施策の企画立案
 市町のデジタル技術等の活用促進
 5G基盤整備促進に対する調整、助言 他

(3) オープンデータの普及・推進

行政機関が保有する行政データ（オープンデータ）を県民や民間事業者等誰もがインターネットを通じて容易に利活用できる専用サイト「山口県オープンデータカタログサイト」（令和元年11月27日公開）の適切な運用管理を行うとともに、県・市町と連携して公開データ数の登録増に努めた。

【公開データ数等の状況】

年 度	公開データ数	アクセス数 (月平均)	ダウンロード数 (月平均)	備 考
元年度	167	587	85	
2年度	332	9,436	474	コロナ関連増
3年度	355	2,090	395	コロナ関連減
4年度	370	1,749	387	〃
5年度	455	5,037	644	

注) 公開データ数は各年度末現在

(4) デジタルデバイド（情報格差）対策の推進

誰一人取り残さないデジタル社会の実現を図るため、デジタル機器の活用不安のある高齢者等がデジタルの「楽しさ」や「利便性」を理解し、より豊かな生活を実現できるようデジタルデバイド対策を実施した。

なお、市町提案型については、山口県市長会・町村会と連携し、市町の取組みを拡充した。

区 分	実施者	取 組 事 例
事業者提案型 (業務委託)	3事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の通いやすい場所に車で出向いての出張型スマートフォン教室の開催（ソフトバンク(株) (東京都)) ・ 高齢者向けeスポーツ体験会の開催 (エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)中国支社 (広島市)) ・ お客様宅への訪問型スマホ教室の開催 (KDDI(株) (東京都))
市町提案型 (補助金交付)	19市町	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマホ活用講座の開催 (スマホ・タブレット操作、キャッシュレス決済、Line、YouTube等) ・ デジタル活用支援員育成講座の開催 (操作、SNS発信) ・ スマホよろず相談の実施 ・ 情報ディスプレイ等の利用による情報格差対策の実施

(5) コンピュータルームの管理運営

NPYビル7階を「県情報センター」と位置づけ、情報処理機器が安全かつ安定して稼働できるように整備しており、県民サービスに直結する各種行政システムのサーバー機器類の安定稼働に努め、適切な管理運用を行った。

(6) 市町ネットワークの管理運営

やまぐち情報スーパーネットワーク（YSN）を利用した市町ネットワークの一元化による運用管理を図り、市町ネットワークの適切な管理を行った。

2 ニューメディアプラザ山口（NPYビル）の管理運営事業

(1) 不動産の管理運営

NPYビルがデジタル技術振興の拠点施設としての役割を果たすため、安定かつ安全な施設運営に努めた。

○ テナントの入退居状況

県・山口市、不動産会社等に積極的に働きかけた結果、入居者が3団体（172.01 m²）あったが、退去者が1団体（509.63 m²）あったことから、平成5年度末の入居率は81%（対前年度末比6ポイント減）となった。

【入退居の状況】

年度	入居数(面積)	退居数(面積)	入居率	備考
元	2 (160.26 m ²)	0 (0 m ²)	94%	
2	3 (135.37 m ²)	2 (419.91 m ²)	89%	
3	4 (780.28 m ²)	3 (921.31 m ²)	86%	
4	1 (57.89 m ²)	0 (0 m ²)	87%	
5	3 (172.01 m ²)	1 (509.63 m ²)	81%	

注) 入居率は、各年度末現在。

○ 「NPYビル中期（5カ年）修繕計画（令和2～6年度）」の実施

修繕計画に基づき、ビル外壁廻り大規模修繕工事（外壁タイルのひび割れ、シーリング劣化、外部建具の錆等の補修）を令和3年度から継続実施するとともに、ビル警備システム更新工事及び各階火災・煙感知器等取替工事等を実施した。

【令和5年度修繕工事の実施状況】

（単位：千円）

工 事 名	計画額	実施額	工期	施工業者
NPYビル外壁廻り大規模修繕工事	70,000	60,060	R3.5 ～R5.7	(株)カシワバラ・コーポレーション (岩国市)
ビル警備管理システム更新	30,000	31,966	R5.6 ～R6.3	日本メックス(株) 中国支店(広島市)
各階火災・煙感知器等取替工事	16,000	12,100	R5.8 ～R6.3	日本メックス(株)中 国支店(広島市)
空調設備更新工事(2階一部)	0	8,106	R5.2 ～R5.6	日本メックス(株)中 国支店(広島市)
消防用・揚水用ポンプ更新工事	8,000	0		実施時期検討中
シアター(客席)・ホール等照明 LED化工事	23,000	0		実施時期検討中
計	147,000	112,232		

(2) 利用施設（イベント施設）の管理運営

利用施設（多目的シアター・イベントホール）について、新型コロナウイルス感染防止対策の緩和等もあり、多目的シアターの利用日数は、大幅に増加した。

特に、スタインウェイピアノを活用した「ピアノ練習」を利用区分に新設し、多くの利用があった。

【イベント施設の利用状況】

年度	多目的シアター			イベントホール		
	利用日数	オープン日数	利用率	利用日数	オープン日数	利用率
元	99	358	28%	22	361	6%
2	64	326	20%	6	349	2%
3	63	341	18%	12	354	3%
4	120	342	35%	15	343	4%
5	202	343	59%	22	351	6%

- ・ ピアノ練習 利用件数 123 回

○ ミニギャラリー（2階）は、一般向けに生涯学習等の成果の発表の場（作品展示）として無償提供し、ビル利用者等の交流の場として利活用を図った。

- ・ ミニギャラリー作品展示：展示者数 13 名 展示日数 218 日

3 情報通信の格差是正事業

(1) 移動通信用施設等の管理運営

携帯電話を利用することが困難な地域（不感地域）対策として設置した岩国市の鉄塔及び基地局等の通信設備等の適切な資産管理を行った。

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業の内容を補足する重要な事項」がないので省略する。